

ソーシャルマーケットを利用した学生の育成

アントレプレナーシップ教育を導入し能力の向上とさらなる支援強化を図る

一般科目教授 松田 安隆



明石工業高等専門学校

高等専門学校において、教員がトップダウンで知識を教える教育から学生が主体的にさまざまな活動することによって得る知恵を重視する時代へと移り変わりつつあります。体験を通じた学習によって学生に創造性を身につけさせようとする問題解決型の教育（PBL教育=Problem-based Learning）がその例です。

このような状況の中で、明石高専は『ソーシャルマーケットを利用した学生の育成』というプロジェクトを立ち上げました。これは学生自らがキャンパス改良、地域貢献プロジェクトなどのさまざまな「ミッション」に主体的に参加することで、主体性、創造性、コミュニケーション能力等のスキルアップを図ろうとするものです。明石高専では、この取組みの中にアントレプレナーシップ教育を入れることで学生の能力を向上させるための支援を強化しています。

具体的には、実社会で活躍している企業家を招き、実体験に基づいた生の声による迫力ある講演会を開催したり、発想力をアップして創造性や独創性を身につけるワークショップを行ったりしています。また、環境問題をテーマとしたディベート大会やプレゼンテーション大会、学生による学内活性化プロジェクトコンテストを実施して、学生のコミュニケーション能力、アイデア力、チャレンジ精神を養っています。



ソーシャルマーケット推進
プロジェクト専用ホームページ

[http:// : act-market.org/](http://act-market.org/)

本取組みで実践してきたことをもとに、学生は学外のさまざまなコンテストや大会にも参加しています。高専生を対象とした「全国デザコン2008」では環境デザイン部門で最優秀賞・国土交通大臣賞および優秀賞、高校生を対象とした「2009日本ストックホルム青少年水大賞」では審査部門特別賞、「バーチャルカンパニートレードフェア2008」では大学部門で特別賞を受賞するなどの成果をあげることができました。

プロジェクトの概要

